

学習塾業界の課題と、今後取り組むべきこととは

ーコロナ禍による出生数大幅減少に耐えられる塾経営を目指そうー

開倫塾
塾長 林明夫

1. 学習塾を取り囲む課題

- (1) コロナ禍の最大の課題は、従来の超少子化高齢化による人口減少に加え、今回のコロナ禍による出生数の大幅減少です。
- (2) 例えば、日本産科婦人科学会の 12 月 12 日中間発表によれば、2021 年 10 月から 2021 年 3 月の分娩予定者数が去年同期比より都市部で 24%、地方で 36%減少しているそうです。
- (3) また、結婚式場の予約数も激減しているそうです。これらを総合して考えれば、5 ~ 15 年後、学習塾が対象とする小・中・高生の人口は大幅な減少が予想されます。



2. 従来からの人口減とコロナ禍による人口減による学習塾の対象人口減に対する対策とは

- (1) 「顧客」とは何かの定義を「再定義」、定義し直し、「業態変更」を行う以外ありません。
- (2) 例えば、開倫塾では今まで「高校入試」と「地元公立中高一貫校入試」などの受験生を主な対象としてきました。
- (3) 5 ~ 10 年後の対象人口大幅減少に備えて、2021 年からは、小学生、中学生から「大学進学」を目指す＜本格的進学塾＞に「業態変更」「企業変身」すべく目下、準備中です。



3. 具体的には

- (1) 高校生が「進学」する「大学」とは何か。「4 年生大学」「短期大学」「専門学校」「専修学校」「大学院」「コミュニティカレッジ」など「高等教育機関」を、「大学」と開倫塾では「定義」し直します。
- (2) ①今までの「大学共通テスト」や「大学独自テスト」の指導は、更に深化させます。
②同時に、「大学」つまり、「4 年制大学」はもちろん、すべての「高等教育機関」への「進学」を、「AO 入試」に必要な「論述式試験に向けた思考力・表現力を育成」することで、全面的にバックアップします。
③更には、「公務員試験に現役合格」を目指す高校生のために、「3 大検定 2 級・準 2 級合格」「一般教科試験」「論述式試験、面接試験に向けた思考力・表現力を育成」でバックアップいたします。
- (3) ①中学生に対しても「推薦入試(論述式試験・面接試験)」に向けての「思考力・表現力を育成」に全力を傾注し、「3 大検定」も含め「推薦入試に強い塾」に＜変身＞を図ります。
②小学生に対しては、「硬筆習字」「そろばん」「プログラミング」の小学校での授業を徹底的に補う「教室」と、「3 大検定」も含め、「開倫塾版放課後子ども教室」を開設＜変身＞を図ります。
③ 6 月と 11 月の四谷大塚全国統一小学生テストの受験者が少しずつですが、増加してきましたので、開倫塾のすべての小学生が統一小学生テストを受検できるよう 6 月・11 月まで指導を強化。地域の小学生も含め、統一小学生テストの受験生の大幅増を目指します。



4. 3大検定(英語検定、漢字検定、数学・算数検定)の位置づけは

- (1)開倫塾では 2021 年より「小学生、中学生から大学進学を目指す本格的学習塾」を唱っておりますので、高校卒業までに各自が目標とする級の「3 大検定、全塾生合格」を目指します。
- (2)各検定の標準目標は、小学生は 5 級、中学生は 3 級、高校生は 2 級合格です。決して無理はしないで、コツコツ 1 ～ 2 年間かけて 1 つ 1 つの級を取得して頂きます。
- (3)ただし、
 - ①私立中学校や公立中高一貫校受験者は、早目に英検 4 ～ 3 級、漢検 3 級合格を目指してもらいます。
 - ②難関高校進学希望者は、早目に英検と漢検は準 2 級～ 2 級合格を目指して頂きます。
 - ③難関大学合格を目指す高校生は、早目に英検 2 級合格を果たし、英字新聞に挑戦して頂きます。
- (4)公務員に現役合格を目指す高校生には、高 1 の「現代社会」と 2022 年度から現代社会の代わりに開設される「公共」を高 1 でしっかり学んでもらい、3 年間かけて「3 大検定」とともに、「論述式の公務員試験に向けての思考力・表現力の育成」を行います。



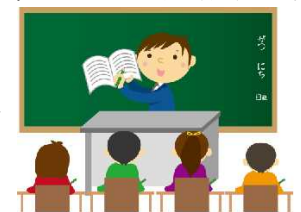
5. 今後のポイントは「記述式入試に向けての思考力・表現力の育成」

- (1)私立中入試、公立中高一貫校入試、難関高校入試、大学共通テスト、大学独自試験やすべての学校・大学の推薦入学、OA 入試に共通する取り組み課題は何か、「アクティブラーニング」に耐えられるだけの「記述式入試に向けた思考力・表現力」です。
- (2)その第一歩が「辞書・新聞・読書の活用による読解力の育成」と、「学校図書館・公共図書館」を自分自身の「Leaning Center 学習センター」として活用できるだけのスキル育成です。
- (3)「大学等の高等教育機関」に進学後、大学での「Leaning Center 学習センター」である「大学図書館」を自由自在に活用し、大学での「アクティブラーニング」に積極果敢に参加できるだけのスキルを小中高生の中に身に着けることです。このスキルは社会に出てから、仕事や社会的活動、更には、人生における課題解決に役立ちます。
- (4)今回の緊急事態宣言中の家庭での自学自習の仕方を、ダイジェスト版としてまとめ「小冊子」を発行しました。



6. 第15回全国模擬授業大会の開催について

- (1)昨年 5 月はコロナ禍で延期となった第 15 回全国模擬授業大会は、本年 5 月 30 日(日)に予定通り、栃木県足利市で開催いたします。
- (2)審査委員長は株式会社マグマ・東ゼミ会長の大森登希義先生です。
- (3)様々な状況を予想し、準備をしながら、開催させていただきますので、出場者の皆様はご準備ください。御参加お待ち申し上げます。



7. コロナ禍における学習塾の役割

- (1)創業の理念や教育目標に立ち返り、コロナ禍の中、学習塾としての使命を果たすべきと考えます。
- (2)部活動休止、学校行事や教育外教育活動の大幅縮小、分散登校などで、学校早帰り、家庭にいる時間が長くなったので、「家庭学習」の支援、特に、自学自習支援が学習塾の最大の課題です。
- (3)「自己学習能力の育成」を教育目標に掲げる開倫塾では、家庭学習や自学自習の支援のために「効果の上がる学習方法」を昨年 3 月 17 日に「塾生ハンドブック 2020」に取りまとめました。2021 年 1 月にはそのダイジェスト版の小冊子を発行しました。HP にも公開中です。是非ご活用ください。